



スピーカーが 生まれ変わったようだ。

今までスピーカー自身のクセと思っていたものが、きれいさっぱり取り払われてしまった。

ここ数年、スピーカーの改良が著実に進み、それにつれてアンプによる音の影響が盛んにクローズアップされるようになりました。さらに、アンプとスピーカーを結ぶコードまで音に影響を与えることが確認され、音の入口から出口まで、すべてのポイントポイントがチェックされ直しています。これは私達の耳が、非常にするどくなった証でもあります。そんな中で、アンプはもはや超低域まで再生可能なDCアンプが

当たり前の時代になってしまいました。スタックスは今から4年前、時代を先取りしたDCアンプDA-300/SRA-10Sを発表。ここにお見せするDA-80とSRA-12Sは、いわばその兄弟にあたる組合わせて。DA-80は、DA-300から採り入れられたAクラス、DCアンプの思想を45W/45Wという手頃な出力に昇華。さらに左右別電源、高S/N、500kHzまで延びたF特という魅力を加えて、DA-80は今、中出力アンプ

における音質の一つのスタンダードとなりつつあります。また、このDA-80は、商品として送りだすさい、一台一台特性データをファイル。万全を期してチェックリストを作りあげています。一方、SRA-12Sは、プリアンプ部をすべてFETで構成。スタックスのイヤースピーカー用Aクラス・パワーアンプを内蔵した、大変お買得なインテグレートッドアンプです。音を良化するため、不要と思われるアクセ

サリー類はできるだけ省き、トランジスター、ダイオード、CやR類の選択に充分な時間と、コストをつぎこんでいます。スピーカーをドライブするときには、DA-80とSRA-12Sの理想的な組合わせを—部屋の影響から開放されて音のディテールを浮きぼりにしたいときには、SRA-12Sとイヤースピーカーを—。この組合わせて、今お使いのスピーカーを生まれ変わらせるためのヒントをつかんでいだけることでしょう。

DA-80 ¥270,000
A級DCステレオパワーアンプ

新製品
SRA-12S ¥72,000
FET DCプリアンプ(SR用パワーアンプ付)